

2019 年 9 月 8 日(36 週目) 主日礼拝 「原色福音と伝道運動で時代の問題を解決したエリシャ」(Ⅱ 列王 6:8-23)

列王記は王の記録である。人間を創造したのも神様を王として、悪魔と戦うために私たちを王として呼ばれた。しかし、創世記 3 章の事件以来、人間がサタンに騙されるようになった。また、アハブ王の時代に妻のイゼベルによってバアルの偶像に満たされた。その中で神様はエリヤを立て、バアルの偽預言者とカルメル山で戦うようになった。偽預言者との戦いでエリヤは主の祭壇を築き、生け贄をささげたーⅠ列 18:30(彼はこわれていた主の祭壇を建て直した)。エリヤが主の祭壇に生け贄を捧げた時に炎の火がつけられ主が真の神であることが証をされた(サタンが打ち砕かれた)。その後、偽預言者 850 人が殺されたが、逆にイゼベルの怒りを買ってエリヤを殺そうとしたが、エリヤはホレブ山に逃げていった。そこで 7000 人の弟子、エリシャを立てなさいと言われる(Ⅱ列 19:16ー18)。エリヤによってエリシャが立てられた。私たちが答えや問題の解決を受ける秘訣はエリヤ、エリシャのようにすれば良い。今日のメッセージを通して、エリシャのした運動を中心に見ていく。

1.エリシャのドタン城の運動	2.エリシャが受けた答え	3.決断する祈り	
▲エリシャは原色福音を回復をした。エリシャはエリヤが行った、祭壇の生け贄を知っていた(Ⅰ列 18:30)。祭壇(キリスト)を回復をした時に、偽預言者が砕かれ、サタンが砕かれた。私たちの問題を解決を出来るのが福音である。エリシャはこの福音の運動を含め 3 つの運動をした。 1)原色福音運動 (1)真の王ー創 3:15(彼は、おまえの頭を踏み砕き、おまえは、彼のかかとかみつく) ①私たちの問題は 100%サタンから来ている ②サタンに敵意を持って霊的な戦いをするべきである。 ③1ヨ 3:8(神の子が現われたのは悪魔のしわざを打ちこわすためです)ーサタンは罪を犯させて悪の道に行かせるようにする。 ーイエスキリストが悪魔の頭を打ち砕き勝利をされた。 (2)真の大祭司ー創 3:21(神である主は、アダムとその妻のために、皮の衣を作り、彼らに着せてくださった) ①良心が強い人ほど、病になり、人を罪に定めようとする。 ②悪魔が私たちに罪意識を持たせるようにする。 ③皮の衣はキリストの義を表わすー皮の衣によって義人とされた。 (3)真の預言者 ①イザ 7:14(それゆえ、主みずからあなたがたに一つのしるしを与える。見よ。処女がみごもっている。そして男の子を産み、その名を『インマヌエル』と名づける) ②24 時間神様がいつも共におられる。 ③聖霊の力によって罪の道に行かないようになる。 (4)人々は悪魔によって苦しんでいるー現場で原色福音運動をする。 2)伝道弟子運動ードタンで 7000 人の弟子を集めて訓練をさせた。 (1)1列 19:16-18(しかし、わたしはイスラエルの中に七千人を残しておく。これらの者はみな、バアルにひざをかかめず、バアルに口づけしなかった者である。) ①ドタン城は神学校運動である。 ②日本神学校・教会の集会でメッセージを聞き訓練を受けるように。 3)お祈りと聖霊充滿運動ーⅡ列 2:9(すると、エリシャは、「では、あなたの霊の、二つの分け前が私のものになりますように。」と言った) (1)悪魔は、原色福音運動、伝道弟子運動を出来ないように邪魔をするーそのため私たちは聖霊充滿を求めるべきである。 (2)エリシャはエリヤについて行き、2 倍の霊の分け前を求め、与えられた。	▲3 つの運動をしたエリシャはどのような祝福を受けたか。 1)洞察力ーⅡ列 6:12(イスラエルにいる預言者エリシャがあなたに寝室の中で語られることばまでもイスラエルの王に告げているのです。) (1)エリシャはアラム王が考えていることを全て分かった。 (2)祈りをすればするほど、知恵を与えられるようになる。 (3)福音運動をする私たちの未来は最高の未来となる。 2)霊力ーⅡ列 6:16-17(すると彼は、「恐れるな。私たちとともにいる者は、彼らとともにいる者よりも多いのだから。」と言った) (1)伝道の働きをしようと思うとサタンの攻撃もある。 (2)エリシャはアラム軍に包囲されるサタンの働きがある (3)ドタンの城で包囲をされた時に天軍天使が守っていた。ー誰も私たちに害を加えることが出来る者がいない。 (4)エリシャは軍隊が盲目になるように祈る(Ⅱ列 6:18-19) ①アラムの軍隊が盲目になりサマリヤに連れて来られた。ーサタンが縛られるようになった。 ②私達がサタンの攻撃に会う時、サタンを縛る祈りをする。ー自分自身、家庭、会社、働くサタンと戦うように。 3)尊敬とサミットの答えーⅡ列 6:21(イスラエルの王は彼らを見て、エリシャに言った。「私が打ちましようか。私が打ちましようか。わが父よ) (1)主の働きを見て王がエリシャにわが父よと言う。ー王はエリシャに尊敬の心を持つーサミットの答え。 (2)暗闇の力と戦う伝道をする王からも尊敬を受ける。ー暗闇の戦いは王にも出来ないことであるから。 (3)伝道運動をするとサミットに立つようになる。 4)赦しの器と人格ーⅡ列 6:23(王は彼らのために盛大なもてなしをして、彼らに飲み食いをさせて後、彼らを帰した) (1)悪魔とは戦い人に対しては赦してあげ、良くしてあげる。 (2)私たちの器を大きくするように。 5)災いを解決ーⅡ列 6:23(二度とイスラエルの地に侵入して来なかった) (1)伝道運動する時に災いは終わるようになる。 ー私たちの問題も終わるようになる。	▲決断をする。 マタ 6:33(だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます) 1)ただ福音、ただ祈り、ただ伝道ーこのただの信仰を強く持つ 2)一心,全身,持続 ○ただ福音、祈り伝道に 一心,全身,持続する。 3)伝道弟子になるために ▲結論 ①エリヤとエリシャを用いたのは霊的な戦いをする人であったから。 ②悪魔との霊的な戦いをする決断をするように。 ③伝道者と生きるように。 ー現場でキリストを伝達をするだけである。	

区域地教会(2019年9月8日～2019年9月14日)

【賛美】「イエスわが王よ」

- 1) イエスわが王を賛美で迎えん 栄光の主の御座を もうけたまえ主よ
私は神のもの ゆえに神にささげん 御心のままにおさめよ 主イエスよ
2) イエスわが王よ ここに来られ われが主にささぐ 賛美受けたまえ
われは主のしもべ 主はわれらのきみ 主なるイエス来られ 賛美を受けたまえ

【使徒信条】

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり、かしこより来たりて、生ける者と死にたる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

【メッセージ】 「原色福音と伝道運動で時代の問題を解決したエリシャ」(Ⅱ列王 6:8-23)

【讚美】 455 主にすがるわれに

【祈り】

①教会の祈りの課題

- ・元旦メッセージ(第 1、2、3 RUTC 実現「古い枠を壊すべき」(Ⅱコリ 5:17)・「新しい枠を整えるべき」(使 9:15)・「霊的に戦う教会(兵士・軍隊)」(エペ 6:10-20)
- ・3 今日(御言葉、祈り、伝道)、3 弟子(秘密決死隊、レムナントミニストリー、Holy Mason)、3 サミット(霊的サミット、技能サミット、文化サミット)の契約を掴み成就を味わう。
- ・御国イザヤ牧師に聖霊充滿と 5 つの力が与えられるように。

②区域地教会の聖徒の中で欠席された方、問題、病にある方、新しい家族のために。

③区域地教会参加者の祈りの課題(集まった聖徒の祈り課題を付箋に記入)のため。

【フォーラム】

【祈り】

【主の祈り】

天にましますわれらの父よ。ねがわくは、御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。我らをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。国とちからと栄

福音宣教教会 10の祈り題	(1)日本 1%福音化 (使 18：9-10 ・ローマ 16：20) (2)第 2 の宗教改革 (マタ 16：16、Ⅰ ペテ 2：9) (3)日本 8,000 教会 (使 17：1-3) (4)200 地教会 (創 41：36－38) (5)1,000 大学 (福音の人材、福音エリート/使 19：9-10) (6)伝道(重職者)運動 (3 弟子/ローマ 16 章) (7)レムナント運動 (イザ 6：13 / 3 サミット) (8)癒しの運動 (使徒 19：8-20) (9)日本神学校、東日本神学校と教役者－Ⅱ列 6：8—23 (10)世界宣教 (マタ 24：14、使 1：8)	
伝道対象者		
お知らせ	1. 大阪教会堂、磐田教会堂の購入とキリスト保育園の 設備工事ため、お祈りをお願いします。 2. 保育士の募集と支援のため、お祈りと協力をお願いします。	

福音宣教教会

主管牧師：御国イザヤ

名古屋市中区栄 5 丁目 23－8／tel:052-238-6003

主日(日曜)1 部礼拝 7:00 ／ 2 部礼拝 10:00 ／ 3 部礼拝 12:00